# 教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

## ニューズ・レター No.183

JSiSE

発行日 2013年3月31日
発行所 教育システム情報学会
発行者 前迫 孝憲


〒533-0005
大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101号
TEL06-6324-7767 FAX06-6324-7767
http://www.jsise.org/
E-mail：secretariat@jsise.org


## ― 2013年度 研究会開催予定 ―

| テーマ | 開催日時 | 会場 | 申込締切 | 原稿締切（必着） |
|---|---|---|---|---|
| **第1回研究会**<br>eラーニング環境のデザインと組織マネージメント／医療・看護・福祉分野におけるICT利用教育／一般 | 2013年<br>5月18日(土)<br>件数により5/17(金)も開催 | 放送大学<br>（千葉市） | 2013年<br>3月21日(木) | 2013年<br>4月8日(月) |
| **第2回研究会**<br>ICTを活用した学習支援と教育の質保証／一般 | 7月14日(日) | 千歳科学技術大学 | 5月17日(金) | 6月7日(金) |
| **第3回研究会**<br>先進的な第二言語学習支援システム／一般 | 9月14日(土) | 静岡大学<br>浜松キャンパス | 7月19日(金) | 8月9日(金) |
| **第4回研究会**<br>教育・学習支援におけるユーザモデリングとデータマイニング／一般 | 11月9日(土) | 北陸先端科学技術大学院大学 | 9月16日(月) | 10月7日(月) |
| **第5回研究会**<br>スマートデバイスによるこれからの教育・学習環境／一般 | 2014年<br>1月25日(土) | 高知工科大学 | 11月15日(金) | 12月6日(金) |
| **第6回研究会**<br>新しい教育を切り開くICTの利用実践・開発研究／一般 | 3月15日(土) | 名古屋学院大学 | 2014年<br>1月中旬 | 2014年<br>2月初旬 |

●○●○●○●○●○●○●○●○●○≪ もくじ ≫○●○●○●○●○●○●○●○●○●


2013 年度研究会開催予定・・・・・・・・・・・・1
2013 年度第 1 回研究会プログラム・・・・・2-3
2013 年度第 2 回研究会発表募集・・・・・・・4
2013 年度特集論文 Call For Paper ・・・・・5-6
英文誌 2st Call for Papers・・・・・・・・・・7
2013 年度第 38 回全国大会開催のご案内・・・・8-9
全国大会ﾌﾟﾚｶﾝﾌｧﾚﾝｽ企画募集のご案内・・・10
2012 年度第 6 回研究会開催報告・・・・・・・11
2012 年度特集論文研究会開催報告・・・・・・11
2012 年度学生研究発表会開催報告・・・・・12-13
国際会議のご案内・・・・・・・・・・・・14-15
新入会員のご紹介・事務局より・・・・・・・16
協賛・後援のお知らせ・・・・・・・・・・・17
学会誌・研究報告バックナンバー購入方法・・18

# 教育システム情報学会（JSiSE） 2013 年度 第 1 回研究会のお知らせ

教育システム情報学会
担当：仲林 清，松居辰則，北村士朗，真嶋由貴恵，
加藤泰久，櫻井良樹（研究会委員会）

**■テーマ　：　e ラーニング環境のデザインと組織マネージメント／医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般**

**■開催日時：2012 年 5 月 18 日（土） 10:00～17:35 （18:00～ 懇親会）**

**■会　場　：　放送大学（千葉市美浜区若葉 2-11）西研究棟 8F ラウンジ**

http://www.ouj.ac.jp/hp/gaiyo/gaiyo06.html
JR 京葉線 海浜幕張，JR 総武線 幕張，京成千葉線幕張 各徒歩 15 分

**■主　旨：**

本年度第 1 回研究会は，「e ラーニング環境のデザインと組織マネージメント／医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般」のテーマで実施いたします．

「e ラーニング環境のデザインと組織マネージメント」に関しては，e ラーニングを複合的な教育研修メディアと捉える立場から，単なる Web による教材配信にとどまらず，企業や大学における人材開発や組織マネージメントとの連携，学習コンテンツ設計，インストラクショナルデザイン，品質評価，学習者支援，ブレンデッドラーニング，インフォーマルラーニングなどの方法論，e ラーニングツール，システム，実践環境に関する提案・開発・応用など幅広いトピックスに関するご発表を募集しました．

「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」に関しては，これまで，人を対象とするこの分野には，コンピュータなどの ICT の活用はなじまないとされてきました．しかし，一方では，マルチメディアを活用したeラーニングが多くの医療系大学や病院などに導入され，ICTを活用して膨大な知識の効率的な学習，新しい知識の定着，医療・看護技術の習得などで，高い学習効果が得られたことが報告されています．また，医療人育成のために体系化された教育プログラムにこそ e ラーニングや ICT の活用が効果的である，との声も聞かれるようになってきました．そこで本研究会では，医療・看護・福祉分野において求められている高い実践能力をもつ人材の育成やナレッジマネージメント，学習者支援，学習コンテンツの設計，インストラクショナルデザイン，医療サービスの質保証ならびに質評価，e ラーニング教材制作，臨床や教育機関での実践・運営環境，著作権処理に関する様々なトピックを扱い，この分野における専門職教育に必要な知識や技能を習得するための ICT 活用教育方法について，議論を進めていきたいと思います．

**■参加費：無料（資料代 1000 円）**

**■参加申込み：**

以下の事項を電子メールにてお送りください．当日の受付も可能ですが，人数把握の都合上，できるだけ事前の申込をお願いいたします．

申込先： NTT システムズ（株） 加藤 泰久　　E-mail: y.kato@azb.nttls.co.jp

==== ここから ====
JSiSE 2013 年度第 1 回研究会に参加します
1．氏名
2．所属
3．電子メールアドレス
4．懇親会に　参加する ・ 参加しない （一方を残してください）
研究会終了後，懇親会を開催する予定です．会費は 4～5000 円の予定です．
==== ここまで ====

■□■□■プログラム■□■□■　発表時間： 25 分（発表 17 分，質疑 8 分），○は登壇者

【セッション 1】10:00~11:40（4 件）

1. 情報処理能力の育成と統制・リスク管理について
○金山茂雄（拓殖大学）・窪田健一（常葉菊川高校）

2. アノテーション及び教材のクラウド上共有
○松本哲（神戸大学）

3. 学習リソース検索システムの検索精度に関する評価［第２報］
○長瀬大（兵庫教育大学大学院）・大森康正・川崎直哉（上越教育大学）

4. 数学 e ラーニングシステムの教材データベースの構成要素と運用方法の検討
○吉冨賢太郎・川添充（大阪府立大学）

（昼休み 60 分）

【セッション 2】12:40～14:20（4 件）

5. 中高等教育における有機化学の e-learning ソフトについて
○齋藤充生・石井竹夫・古川淳・林譲（帝京平成大学）

6. テストの時間を短縮するためのオンラインテスト －Moodle プラグインとしての実装と評価－
○秋山實（株式会社 e ラーニングサービス／東北大学大学院）

7. 学習者状態を考慮した事前テスト時フィードバックの検討
○八木 秀文（熊本大学大学院・広島修道大学）・喜多敏博・合田美子・鈴木克明（熊本大学大学院）

8. SCORM 2004 対応 Moodle プラグインのモバイルデバイス用インタフェースの開発
○森本容介（放送大学）・仲林清（千葉工業大学）・芝崎順司（放送大学）

（休憩 10 分）

【セッション 3】14:30～16:10（4 件）

9. 拡張性を有する学習支援システムアーキテクチャのグループ学習のための機能拡張検討
○仲林 清（千葉工業大学）・森本容介（放送大学）

10. IMS-LD 記述ルールの提案と LD プレイヤーの試作
○喜久川功・有富智世（常葉大学）

11. 手術室看護師が独学できる災害対策教材の開発
○岡崎大輔（東京逓信病院・熊本大学大学院）・北村士朗・鈴木克明（熊本大学大学院）

12. 看護実践の自律したリフレクションを支援する e ポートフォリオ・プロトタイプの開発
○清水將統（北里大学病院・熊本大学大学院）・北村士朗・中野裕司・鈴木克明（熊本大学大学院）

【セッション 4】16:20~17:35（3 件）

13. ブレンディッドラーニングの普及を目指した教員向け moodle 講習会の実践報告
○淺田義和（自治医科大学）

14. 医学教育におけるＴＶ会議システムで必要な機能・サービスと想定すべきトラブル
○讃岐勝・内藤隆宏・前野哲博（筑波大学医学医療系）

15. 福祉専門職教育における情報技術を用いたシステム導入の検討
○佐藤貴之・坂本毅啓（北九州市立大）

# 教育システム情報学会（JSiSE） 2013 年度 第 2 回研究会研究発表募集

教育システム情報学会（JSiSE）
担当：不破 泰，小松川 浩，布施　泉，野崎浩成（研究会委員会）

【テーマ】ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般
【日　時】2013 年 7 月 14 日（日）
【会　場】千歳科学技術大学（北海道）

## 【趣旨】

テーマは「ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般」です。

近年，進学率の上昇に伴い，大学は多様な学生を受け入れるようになりました。また，小中学校・高校では児童・生徒の学力格差が問題となっています。このように，小中高校，大学において，習熟度の異なる多様な学習者に対して，いかにして教育の質を保証していくのかが重要なテーマになっています。

そこで，本研究のテーマは，「ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般」とします。ICT を活用した学習支援，教材システム，学習支援の環境や技術，学習コンテンツの開発・評価など，e-Learning や学習支援に関する研究，ならびに，そのようなシステムやコンテンツの活用事例を通じた教育的な効果や有効性に関する研究を広く募集します。これらの研究を通じて，教育の質保証を図り，学力格差の是正や学習の質的の向上を目指します。

また，システム開発やコンテンツ作成をはじめ，教育実践や教材評価，カリキュラムの設計，学習科学，言語教育など，教育に関連した幅広い分野からの発表も歓迎いたします。職場の同僚や共同研究をしているグループなど，お誘い合わせの上，奮って，ご参加下さい。

## 【発表申込】　締切：2013 年 5 月 17 日（金）

以下の事項を「申込先」にお送りください。
原稿の提出方法は別途ご案内します。

1. 発表タイトル
2. 発表者・所属（登壇者に○）
3. キーワード（3～5 語程度）
4. 連絡先：氏名，電子メールアドレス

## 【申込先】

野崎浩成（愛知教育大学）
Mail ： nozaki@auecc.aichi-edu.ac.jp

## 【発表原稿】　締切：2013 年 6 月 7 日（金）

# 論文特集　Call For Paper

## 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／ICT を活用した教育の質保証

ICT（Information Communication Technology）の高度化により，学習・教育の環境は，研究型から実践型へシフトしてきています．そこで本特集号では，これまで本学会では投稿が少なかった医療分野など専門職を育成する実践重視型の教育活動や，ICT 基盤の普及によって可能となった大量の学習活動データの活用や多面的な教育実践評価，さらにそれらに立脚した教育改善プロセスに着目し，**「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」**と**「ICT を活用した教育の質保証」**の２つのテーマに焦点を当てた論文を募集します．

１．対象分野

A) 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育

医療・看護・福祉分野においては，人そのものを対象とするので，コンピュータなどの ICT の活用はなじまないとされてきました．しかし，一方では，マルチメディアを活用した e ラーニングが多くの医療系大学や病院などに導入され，ICT を活用して膨大な知識の効率的な学習，新しい知識の定着，医療・看護技術の習得などで，高い学習効果が得られたことが報告されています．最近では医療人育成のために体系化された教育プログラムにこそ e ラーニングや ICT の活用が効果的である，との声も聞かれるようになってきました．

そこで本特集では，医療・看護・福祉分野において求められている「高い実践能力をもつ人材の育成，専門知識におけるナレッジマネージメント，学習者支援，学習コンテンツの設計，インストラクショナルデザイン，医療サービスの質保証ならびに質評価，e ラーニング教材制作，臨床や教育機関での実践・運営環境の構築，著作権処理」をキーワードにして，この分野における専門職教育に必要な知識や技能の習得を支援する研究・開発・実践に関する論文を募集いたします．

B) ICT を活用した教育の質保証

教育現場に ICT が初めて導入されてから何年も経ち，現在では，教育の質保証または向上，教育の実質化，そして学習支援に活用されています．その用途には，大学改革を促進するために，教学マネージメントの強化に関する IR(Institutional Research)，教職員向けの研修(FD/SD)，図書館や博物館などを含む教育施設や教育機関との連携など組織的な利用があります．また，学習者の主体的な学びを実現するために，e ラーニングや e ポートフォリオなどを用いた教育実践や評価も進められています．

このような背景を踏まえ，本特集では，教育の質保証・実質化に関連する研究を広く募集します．IR，FD/SD，教育連携などと合わせて，システム開発やコンテンツ作成，学習支援の環境や技術，教育実践と評価，カリキュラム設計，インストラクショナルデザイン，学習科学など，教育に関連した幅広い分野からの論文を募集いたします．

２．論文種別

すべての種別の論文（原著論文，実践論文，ショートノート，実践速報）を募集します．今回は特に，今後，ICT を活用した教育方法の発展が期待される医療・看護・福祉分野における実践および ICT 基盤を活用した教育改善やそれにつながる学習活動データ活用，教育実践評価に関する優れた事例やユニークな取り組みなど，速やかに公表することにより本学会会員の参考となるショートノートや実践速報の積極的な投稿を奨励します．なお，査読結果により，投稿時とは異なる種別での採録となる場合もあります．また，特集号編集委員会の判断で，一般投稿論文として扱う場合もあります．

３．投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます．詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください．以下，Web 投稿の際には以下の点にご注意ください．

・すべての方へ：「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください．

・特集論文研究会（2013 年 3 月 16 日（土）於；山口大学）で発表を行った方へ：投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に，特集研究会での発表題目を記載してください．

４．スケジュール

投稿原稿〆切：2013 年 4 月 20 日（土）

掲載予定巻号：2014 年 1 月 1 日発行予定の学会誌（Vol.31, No.1）

５．特集号編集委員会

委員長：仲林清（千葉工業大学），副委員長：松居辰則（早稲田大学），小西達裕（静岡大学）

特集幹事：真嶋由貴恵（大阪府立大学：「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」担当幹事），
合田美子（熊本大学：「ICT を活用した教育の質保証」担当幹事），
林雄介（広島大学），小島一晃（早稲田大学），

委　員：学会誌編集委員

６．問い合わせ

・特集号全般に関する問い合わせ：

特集号編集委員会幹事　林　雄介（広島大学　E-mail: hayashi@lel.hiroshima-u.ac.jp）

・Web 投稿に関する問い合わせ：

教育システム情報学会編集事務局（電話：03-5389-6492　E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp）
〒169-0075　東京都新宿区高田馬場 4-4-19
株式会社国際文献印刷社　長澤

# 2nd Call for Papers

The Journal of Information and Systems in Education, Vol. 12

JSiSE (Japanese Society for Information and Systems in Education) has published *The Journal of Information and Systems in Education* annually since 2002. The editorial committee of the journal welcomes submissions of articles for volume 12 of the journal.

Computers and network communications technology, which are the bases of information technology (IT), have infiltrated various aspects of education, including styles of teaching and learning activities. Elementary, higher, enterprise, and lifelong educational institutions are incorporating various kinds of IT equipment in synchronous and asynchronous learning. Many advanced companies have identified that "e-learning" frameworks are very important to their employees in order to acquire knowledge and skills depending their jobs. In these developing environments for e-learning, learning technology research and contribution are getting increased attention for effective and successful e-learning. Although research in this area has continued for over 50 years, it remains one of the most critical issues for learning activities today.

*The Journal of Information and Systems in Education* aims to spread outstanding research and practice results in the field of learning technology to professionals all over the world. To contribute the progress of learning technology research and practice, researchers and practitioners are encouraged to submit their advanced results in the topics below.

**Scope:**

The topics of papers include, but are not limited to:

- Learning technology systems: infrastructure, frameworks, architectures, etc.
- Methodology and pedagogy of e-learning: collective, instructional, collaborative, etc.
- Administration, maintenance, and evaluation of e-learning activities
- Core technology related to learning technology: database, artificial intelligence, etc.
- Sciences related to learning technology: cognitive science, educational psychology, etc.

**Important Date:**

The first submission deadline: April 12, 2013 (extended!)
The second submission deadline: May 31, 2013

**Instructions for Authors:**

Please refer to the "Authors Instruction" in the JSiSE Web site below in preparing manuscripts for submission.
http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf

**Paper Submission:**

Authors must submit their papers through the web submission system at:
https://www.wdc-jp.biz/jsise/journal_e/applicant/login.html

**Publication:**

Vol. 12 will be published on the J-STAGE Web site (http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise/).

**Contact Address:**

JSiSE International Journal Editorial Office
E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

# 第 38 回 JSiSE 全国大会のご案内

テーマ 「地域に根ざし、世界や世代を繋ぐ教育システムを目指して」
**http://www.jsise.org/taikai/2013/**

■ 開催日時： 2013 年 9 月 2 日(月) ～ 9 月 4 日(水)

■ 会　　場： 金沢大学 角間キャンパス（〒920-1192 金沢市角間町）

■ 主　　催： 教育システム情報学会

■ 大会日程

| | |
|---|---|
| 9 月 2 日（月） | |
| 午前 | プレカンファレンス |
| 昼 | 開催大学挨拶・特別講演・企業セッション |
| 午後 | 一般セッション |
| 夜 | ウエルカムパーティ |
| 9 月 3 日（火） | |
| 午前 | 一般セッション |
| 昼 | 理事会・総会・招待講演 |
| 午後 | 企画セッション |
| 夜 | 懇親会 |
| 9 月 4 日（水） | |
| 午前 | 一般セッション |
| 昼 | 招待講演 |
| 午後 | 公開フォーラム・クロージングセッション |

(*) 大会日程は変更の可能性があります.

■ 講演・参加申込のスケジュール

大会 Web サイトから申し込みを行ってください.
投稿締め切りの後に，参加申し込みが開始されます.
発表者には，参加申し込み開始時にメールで連絡いたします.

○ 2013 年 4 月 9 日(火)　講演申込・投稿開始
○ 2013 年 5 月 20 日(月)　講演申込締切
○ 2013 年 6 月 17 日(月)　投稿締切
○ 2013 年 6 月 19 日(水)　参加申込開始
○ 2013 年 8 月 2 日(金)　参加申込締切(郵便振替)
○ 2013 年 8 月 12 日(月)　参加申込締切(クレジットカード)

## ■ 大会参加費

| 事前申込 | 当日申込 |
|---|---|
| 一般会員： 7,000 円<br>学生会員： 3,000 円<br>非会員（学生以外）： 10,000 円<br>非会員（学　　生）： 5,000 円<br>論文掲載料： 1,000 円（論文一編につき） | 一般会員： 8,000 円<br>学生会員： 4,000 円<br>非会員（学生以外）： 11,000 円<br>非会員（学　　生）： 6,000 円 |
| 全国大会当日，またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は，会員料金でお申し込みいただけます. | |
| ［懇親会費］<br>一般： 未定　　学生： 未定 | ［懇親会費］<br>一般： 未定　　学生： 未定 |

参加費等の支払いの詳細は，大会 Web サイトをご覧ください.
プレカンファレンスのみに参加する場合は，大会参加登録，および参加費の支払いは不要です.

## ■ 講演申込について

一般セッション，および企画セッションでの講演を募集いたします.
なお，現在実施が予定されている企画セッションは以下のとおりです.

1. e ラーニング環境のデザインと人材マネジメント
2. サスティナブルな医療者教育を目指した先進的教育デザイン
3. スマートデバイスによるこれからの教育・学習環境
4. 先進的なプログラミング・アルゴリズム学習教育支援システム
5. タブレット・スマホ時代の情報リテラシー・情報モラル教育
6. 実用的学習支援システム・環境の構築と運用
7. ICT を活用した学習支援と教育の質保証
8. 身体知・経験知に関わる学習の分析と支援
9. 教育の情報化 －初等・中等・高等教育における ICT 活用実践と活用力の育成－
10. 学生研究特別セッション　※一般公募は行いません.

## ■ プレカンファレンスのテーマ・オーガナイザの募集

プレカンファレンスのテーマと，そのオーガナイザを公募いたします.
メール（kikakuboshu@jsise.org）にて企画委員会にお申し込みください（締切：5 月 20 日（月））.
詳細は大会 Web サイトをご覧ください.

## ■ 予稿集について

前回大会より予稿集の印刷を廃止し, CD-ROM, および Web による配布としております. Web 版の予稿集は, 8 月 26 日(月)に大会参加者のみに公開され，2014 年 1 月 31 日(金)に一般公開されます.

## ■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします．お申し込み先など，詳細は大会 Web サイトをご覧ください.

## ■ 大会事務局

〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光 3 丁目 3-25-101 号
教育システム情報学会 第 38 回全国大会 実行委員会
E-mail： jsise-desk@bunken.co.jp

# 2013 年度（第 38 回）全国大会
# プレカンファレンス 企画募集のご案内

教育システム情報学会
企画委員会 委員長 岡部成玄

全国大会の初日（９月２日（月））午前中に開催されますプレカンファレンスの企画を募集致します。昨年度まで実施しておりました全国大会のワークショップを引き継ぎ，今年より学会の企画として実施するものです。全国大会に関わる会員間交流に関わる企画や，支部等による企画，外部の方を招聘した企画など，様々な視点での企画を募集致します。講演会形式・研究発表会形式・パネルディスカッション形式・ハンズオン形式 など，自由に設定できます。企画の開催数は，最大 10 件を予定しております。奮ってご応募ください。なお，開催致します企画は，企画委員会で審査の上，決定いたしますので，ご了承ください。

- 企画は，参加者にオープンであることとし，プレカンファレンスのみに参加の場合には，大会参加登録は必要ありません.
- プレカンファレンスでの発表については，論文集に掲載致しません。ただし，企画の概要・予定については掲載（大会 Web サイトへの掲載を含む）致します。
- 大会後，報告を求めます。企画内容は，学会員向けに学会のＷｅｂサイト等を通して公開します。

企画の提案者（オーガナイザ）は，以下の項目をご記入の上，
企画委員会（kikakuboshu@jsise.org）宛まで電子メールにてお申し込みください.
・ テーマ
・ 概要（A4 用紙 1 枚以内）と使用教室についての希望（人数）
・ オーガナイザの氏名・所属・連絡先（電子メールアドレスなど）
※オーガナイザは教育システム情報学会会員に限ります.

**■申込期限：**
**2013 年 5 月 20 日(月)**
（2013 年 5 月 31 日（金）までに採否結果を通知いたします）

**********
教育システム情報学会(JSiSE) 2012 年度　第 6 回研究会 報告
**********

■開催担当: 松永公廣，西野和典，西端律子，鷹岡　亮(研究会委員会)
■会場担当: 阿濱茂樹，小柏香穂里（山口大学）

■テ ー マ: 教育の情報化と情報教育/一般
■日　　時: 2013 年 3 月 16 日（土）
■会　　場: 山口大学吉田キャンパス 教育学部（〒753-8513 山口市吉田 1677-1）

■実施報告
2013 年 3 月 16 日(土)に、山口大学吉田キャンパスを会場として、特集論文研究会と共同で、第 6 回研究会を開催しました。今回の研究会テーマは「教育の情報化と情報教育/一般」でした。具体的には、システム・教材開発、学習支援、e-learning、カリキュラム・授業支援、教育方法・教育実践、タブレット端末の教育利用、情報教育、認知・分析など幅広い研究発表が行われ、短い質疑応答の時間でしたが、3 つの会場各々で有意義な議論が展開される研究会となりました。

年度末のお忙しい時にも関わらず、発表数は 45 件、参加者は特集論文研究会とあわせて 149 名、研究会後の懇親会の参加者は 48 名と非常に盛会な研究会となりました。ご発表頂きました皆さま、熱心にご議論頂きました参加者の皆さま、座長をお引き受け頂きました先生方、そして懇親会までご参加頂きました皆さまにこの場をお借りてお礼申し上げます。

**********
教育システム情報学会(JSiSE) 2012 年度　特集論文研究会 報告
**********

■編集担当：小西達裕（研究会委員会/学会誌編集委員会），
　　真嶋由貴恵，合田美子，林　雄介（学会誌編集委員会）
■会場担当：阿濱茂樹，小柏香穂理，鷹岡　亮（山口大学）

■テ ー マ：「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」および，「ICT を活用した教育の質保証」
■開 催 日：2013年3月16日（土曜日）
■会　　場：山口大学吉田キャンパス 教育学部（〒753-8513 山口市吉田1677-1）

■実施報告：
本年度の特集論文研究会は，2013 年 3 月 16 日に第 6 回研究会（テーマ：教育の情報化と情報教育/一般）と共同で山口大学吉田キャンパスにおいて開催されました．今回は，「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」と「ICT を活用した教育の質保証」の 2 つのテーマ設定の下で研究会を開催し，それぞれのテーマに関する発表を広く募集いたしました．結果として，「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」では 26 件，「ICT を活用した教育の質保証」では 13 件の発表があり，4 会場並行で各会場とも熱心に議論が行われました．また，並行して開催された第 6 回研究会とも相互に参加が自由となっており，二つ合わせると，のべ 149 名の方が参加されました．

この特集論文研究会も回を重ねて年度末の恒例となっているため，ご存じの方も多いと思いますが，他の研究会とは異なり，翌年度の学会誌特集号への投稿を促進することを目的とし，特集号と同じテーマで開催しています．この特徴は 2 つあり，一つは希望者には研究会委員と編集委員が投稿された原稿を事前に読み，論文執筆のためのコメントを発表後すぐに提供しました．また，もう一つの特徴は，十分な質疑応答時間を確保しました．従来から特集論文研究会では通常は 5 分のところを 20 分用意して，各発表でしっかりと議論していただけるよ

うにしています．さらに，今回は質疑応答時間を 2 部構成で利用させていただき，前半は前述の研究会委員，編集委員からのコメントに基づいて座長（編集委員）がコメントや質問を提供する場とし，後半は参加者の方々から様々な質問やコメントを受ける場としました．これらの取り組みによって，研究を発展させて，よりよい論文を執筆していただくための参考にしていただくことを目指しています．

今回も各セッションでは通常よりも長いディスカッションの時間を十分に利用して各発表で活発な議論が展開され，発表によっては 20 分の質疑応答時間でもまだ足りないということもありました．各発表者にとっては特集号への投稿の弾みになったと思われますし，来年度の特集号が質的にも量的にもとても充実したものになることを予感させる研究会となりました．ただ，このような質疑応答時間の構成や提供コメントの形式もまだ至らないところもあり，課題が残っていますので今後とも改善していき，特集号への論文投稿を目指す方々にとって有益な特集論文研究会の仕組みを構築していきたいと思っております．会員の皆様からのご意見等を是非お寄せください．

**********

## 教育システム情報学会 2012 年度　学生研究発表会　開催報告

**********

**■開催時期：2013 年 2 月末～3 月）　　発表件数・来場者数**

| 開催地区 | 実行委員長 | 会場 | 開催日 | 発表件数 | 来場者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 千歳科学技術大学　小松川　浩 | 千歳科学技術大学 | 3 月 11 日(月) | 6 | 42 |
| 東　北 | 山形大学　加納　寛子 | 山形大学 | 2 月 27 日(水) | 3 | 16 |
| 関　東 | 千葉工業大学　仲林　清 | 放送大学 | 3 月 11 日(月) | 9 | 19 |
| 北信越 | 長岡技術科学大学　中平　勝子 | 長岡技術科学大学 | 3 月 11 日(月) | 14 | 30 |
| 東　海 | 名城大学　山﨑　初夫 | 名城大学名駅ｻﾃﾗｲﾄ | 3 月 7 日(木) | 9 | 29 |
| 関　西 | 甲子園大学　梶木　克則 | 関西学院大学<br>大阪梅田ｷｬﾝﾊﾟｽ | 3 月 9 日(土) | 26<br>(内ﾎﾟｽﾀｰ 10 件) | 61 |
| 中　国 | 近畿大学　田中　一基 | 東広島市市民文化ｾﾝﾀｰ | 3 月 2 日(土) | 13 | 27 |
| 四　国 | 香川大学　林　敏浩 | 香川大学 | 3 月 19 日(火) | 9 | 34 |
| 九　州 | 熊本大学　久保田　真一郎 | 熊本大学 | 2 月 28 日(木) | 6 | 24 |
| 沖　縄 | 琉球大学　谷口　祐治 | 琉球大学 | 3 月 8 日(金) | 8 | 27 |
| | | | 合　計 | 103 | 309 |

**■優秀賞・優秀ポスター発表賞　受賞者一覧**

| 開　催<br>地　区 | 受賞者氏名 | 受賞者所属<br>タイトル |
|---|---|---|
| 北海道 | 中野　祐輔 | 千歳科学技術大学　総合光科学部　修士 1 年<br>モバイルを活用した学びを支援するマルチデバイス対応の e ラーニングシステムに関する研究 |
| 東　北 | 菅原　遼介 | 岩手県立大学大学院　修士 1 年<br>誤回答を用いた誤答選択肢自動生成システムの開発と評価 |
| 関　東 | 大石　千恵 | 電気通信大学　情報理工学研究科　修士 1 年<br>Web 調べ学習における学習シナリオ作成スキル |
| | 田井　眞直子 | 早稲田大学　人間科学研究科　修士 2 年<br>視覚･触覚･嗅覚情報を持つクロスモーダルメディアの印象評価 |

| | | |
|---|---|---|
| 北信越 | 夛田 一貴 | 福井高専 専攻 5 年<br>早期情報教育のための教材 iT-eBlocks の開発 |
| | 山田 愛弥 | 富山大学 学部 3 年<br>教員が実感している実物投影機の活用の効果に関する調査 |
| | 薛 連子 | 長岡技術科学大学 修士 2 年<br>高等学校数学教育における日中比較研究- |
| 東 海 | 吉田 和史 | 名古屋大学 学部 4 年<br>英語短文穴埋め問題における英文法知識の特定手法 |
| | 森 祐馬 | 名古屋大学 学部 4 年<br>バイクシェアリング計画問題のためのシミュレーション学習 |
| | 飯田 真也 | 名古屋工業大学 学部 4 年<br>プログラミング演習支援システム CAPES における演習問題の難易度推定システムの実現 |
| | SILASAK MANOSAVANH | 豊橋技術科学大学 修士 2 年<br>発話学習のための音声から抽出した調音特徴に基づく発音動作アニメーション生成 |
| 関 西 | 福浦 圭介 | 熊本県立大学 総合管理学部 3 年<br>高校生を対象としたモーションセンサを用いたワークショップ『SKPUK』に関する研究 |
| | 衣川 あかね | 大阪電気通信大学 総合情報学部 4 年<br>「自分手帳」の開発 |
| | 吉良 俊哉 | 神戸市立工業高等専門学校 電気工学科 5 年<br>モバイル端末を用いた脳波センサーと連携した英単語学習システムの開発 |
| | 小田 悠介 | 神戸市立工業高等専門学校 専攻科 電気電子工学専攻 2 年<br>プログラム間の類似性の定量化手法 |
| | *岸本 光 | 奈良工業高等専門学校 情報工学科 5 年<br>タブレット端末を用いたリアルタイム性のある交通ハザードマップ作成支援システムの構築 |
| | *中川 洋 | 大阪工業大学 情報科学部 4 年<br>関数定義機能などを拡張した Arduino 用タイルプログラミング教材 |
| | *井手 勝也 | 近畿大学大学院 総合理工学研究科 1 年<br>タブレットを用いた手書き描画型講義演習ノートの開発 |
| 中国 | 桑原 裕也 | 弓削商船高等専門学校 生産システム工学専攻 1 年<br>高齢化地域にふさわしい ICT の利活用に関する研究 |
| | 吉田 完 | 広島大学 工学部 4 年<br>授業内容に対する理解の形成的評価を目的とした KB マップの利用 |
| | 松田 智貴 | 広島大学 工学部 4 年<br>リフレクションの促進を指向した遷移的作問演習の提案 |
| | 平野 広樹 | 広島大学 工学部 4 年<br>文系の大学授業を対象とした Kit-Build 概念マップの利用事例 |
| 四国 | 西森 友省 | 香川大学 工学研究科 修士 2 年<br>履修情報に基づく得意不得意分野の推定 |
| | 谷川 晃大 | 高知大学 理学部 4 年<br>プレゼンテーションの差分とレビュー結果との関連性に着目した改善評価方法 |
| 九州 | 今村 貴明 | 熊本大学 修士 2 年<br>タッチタイピング練習支援のための USB カメラを用いた視線判定方法の提案 |
| | 栗原 大樹 | 九州工業大学 学部 4 年<br>多観点の時系列評価を可能とした映像評価システムの開発 |
| 沖縄 | 渡口 聡則 | 拓殖大学 工学研究科博士前期課程 2 年<br>学習者の実環境を取り込んだ技術教育支援システム開発の試み |
| | 世嘉良 紳 | 沖縄工業高等専門学校 メディア情報工学科 5 年<br>プログラミング学習の支援システム開発 |

*優秀ポスター発表賞

# 国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

2013 年 11 月開催

●ICCE 2013: The 21st International Conference on Computers in Education
- ▸開催期間：November 18 - 22, 2013
- ▸開催地　：Bali, indonesia
- ▸ＵＲＬ　：http://icce2013bali.org
- ▸論文投稿スケジュール：Paper Submission Due: May 6, 2013

2013 年 10 月開催

● ECEL 2013: 12th European Conference on e-Learning
- ▸開催期間：October 30-31, 2013
- ▸開催地　：Sophia Antipolis, France
- ▸ＵＲＬ　：http://academic-conferences.org/ecel/ecel2013/ecel13-home.htm
- ▸論文投稿スケジュール：Abstract submission deadline: April 10, 2013
  Full paper due for review: May 29, 2013

●CENTRIC 2013: The Sixth International Conference on Advances in Human-oriented and Personalized Mechanisms, Technologies, and Services
- ▸開催期間：October 27 - November 1, 2013
- ▸開催地　：Venice, Italy
- ▸ＵＲＬ　：http://www.iaria.org/conferences2013/CENTRIC13.html
- ▸論文投稿スケジュール：Full Paper: May 28, 2013

●ACE 2013: The Fifth Asian Conference on Education
- ▸開催期間：October 23 - 27, 2013
- ▸開催地　：Osaka, Japan
- ▸ＵＲＬ　：http://ace.iafor.org/
- ▸論文投稿スケジュール：Abstract submission deadline: July 1, 2013
  Full paper submission deadline: December 1, 2013

●FIE 2013: 2013 Frontiers in Education Conference
- ▸開催期間：October 23-26, 2013
- ▸開催地　：Oklahoma USA
- ▸ＵＲＬ　：http://fie2013.org
- ▸論文投稿スケジュール：Abstracts Due: February 1, 2013
  Preliminary Paper Deadline: April 1, 2013

●CELDA 2013: IADIS International Conference on Cognition and Exploratory Learning in Digital Age
- ▸開催期間：October 22-24, 2013
- ▸開催地　：Fort Worth, Texas, USA
- ▸ＵＲＬ　：http://www.celda-conf.org

▸論文投稿スケジュール：Submission Deadline (1st call): February 28, 2013

●AACE E-Learn 2013 - World Conference on E-Learning in Corporate, Government, Healthcare & Higher Education
▸開催期間：October 21-25, 2013
▸開催地　：Las Vegas, Nevada, USA
▸ＵＲＬ　：http://www.aace.org/conf/elearn/
▸論文投稿スケジュール：　Submissions Deadline: May 24, 2013

●ITHET2013：IEEE 12th International Conference on Information Technology Based Higher Education and Training
▸開催期間：10-12 October 2013
▸開催地　：Antalya, TURKEY
▸ＵＲＬ　：http://www.ithet.boun.edu.tr
▸論文投稿スケジュール：Deadline of one page abstracts June 28, 2013
Submission of full papers Aug.23, 2013

●ICWL 2013：The 12th International Conference on Web-based Learning
▸開催期間：October 6-9, 2013
▸開催地　：Kaohsiung, Taiwan
▸ＵＲＬ　：http://icwl2013.tajen.edu.tw/
▸論文投稿スケジュール：Abstract submission deadline: April 8, 2013
Paper submission deadline: April 15, 2013

●ICEM 2013: The International Council for Education Media
▸開催期間：October 1-4, 2013
▸開催地　：Singapore, Singapore
▸ＵＲＬ　：http://icem2013.ntu.edu.sg
▸論文投稿スケジュール：Deadline for submission of abstracts: March 31, 2013

2013 年 9 月開催

●UBICOMM 2013: The Seventh International Conference on Mobile Ubiquitous Computing, Systems, Services and Technologies
▸開催期間：September 29 - October 3, 2013
▸開催地　：Porto, Portugal
▸ＵＲＬ　：http://www.iaria.org/conferences2013/UBICOMM13.html
▸論文投稿スケジュール：Submission (Full paper): April 30, 2013

● KES 2013：17th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems
▸開催期間：September 9-12, 2013
▸開催地　：Kitakyushu, Japan
▸ＵＲＬ　：http://kes2013.kesinternational.org
▸論文投稿スケジュール：Papers (General Sessions): March 1, 2013

2013 年 8 月開催

●TALE 2013: IEEE International Conference on Teaching, Assessment, and Learning for Engineering
▸開催期間：August 26 - 29, 2013
▸開催地　：Dynasty Resort Bali. Indonesia
▸ＵＲＬ　：http://www.tale-conference.org/tale2013/
▸論文投稿スケジュール：Paper submission deadline: April 26, 2013 (EXTENDED)

# 新入会員の紹介

下記の皆様方が、新しくご入会されました。

●新入会正会員・準会員　　2013/2～2013/3

| 名前 | 所属機関 | 会員種別 |
|---|---|---|
| 西村由美 | 関西学院大学大学院 | 正会員 |
| 安藤雅夫 | 東海学院大学 | 正会員 |
| 末次典恵 | 佐賀大学 | 正会員 |
| 澤山郁夫 | 岡山大学大学院 | 準会員 |
| 石引宏明 | NTT ﾗｰﾆﾝｸﾞｼｽﾃﾑｽﾞ㈱ | 正会員 |

# 事　務　局　よ　り

## ★☆年会費納付のお願い☆★

2013 年度年会費の請求書を 2 月末より 3 月初旬にかけて郵送させていただきました。
請求内容をご確認いただき、2013 年 9 月末までにご入金ください。

また、前年度以前の未納が続きますと、ご入金が確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、未納が 3 年度分を過ぎますと、規約により除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくお願い致します。

ご不明な点がございましたら、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

**JSiSE 事務局 E-mail：secretariat@jsise.org**

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、変更届を事務局までご連絡ください。
ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

◎振込先◎

■銀行名　：ゆうちょ銀行　支店名：019 店
■当座預金：0709632　※00180-6-709632
■口座名義：教育システム情報学会

■銀行名　：池田泉州銀行　支店名：上新庄支店
■普通預金：13440
■口座名義：教育システム情報学会　家本 修

◎年会費のご案内◎

■正会員：7,000 円
■準会員：4,000 円
■企業･団体会員：50,000 円
■研究報告年間購読：4,000 円
■入会金：1,000 円（初年度のみ）

## 新　入　会　員　募　集

教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的に開催される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、 そのほか、定期刊行物の論文誌やニューズレター、研究報告書などがお手許に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

**■お申込み方法■**

入会をご希望の方は、入会申込書は学会Ｗｅｂページ（http://www.jsise.org/）に掲載しておりますので（ＰＤＦファイル）ダウンロードしていいただき、必要事項をご記入の上、 学会事務局にご郵送または、FAX か、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、入会金無料・その場で、学会誌最新刊を進呈させて頂くというキャンペーンを行っております。そちらも、合わせてご案内いただきますようお願い致します。

**■学会事務局宛■**

〒533-0005　大阪市東淀川区瑞光 3 丁目 3-25-101 号
教育システム情報学会事務局　宛
TEL/FAX 06-6324-7767　　Email：secretariat@jsise.org

## 協 賛 ・ 後 援 の お 知 ら せ

Ⅰ　協　賛：日本工学教育協会
　　「平成 25 年度工学教育研究講演会」
　　日　時：平成 25 年 8 月 29 日(木)～31 日(日)
　　会　場：新潟大学五十嵐キャンパス

Ⅱ　共　催：日本化学会　情報科学部会
　　「情報化学検討会」
　　日　時：平成 25 年 11 月 7 日(木)～8 日(金)
　　会　場：筑波大学春日エリア情報メディアユニオン

Ⅲ　後　援：全国高等専門学校　第 24 回プログラミングコンテスト委員会
　　「全国高等専門学校　第 24 回プログラミングコンテスト」
　　日　時：平成 25 年 10 月 13 日(日)・14 日(月)
　　会　場：旭川市民文化会館

## ◆◇◆◇学会誌・研究報告バックナンバーのお求めは ◇◆◇◆

学会誌・研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は，㈱毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

・学会誌　1部3,000円
・研究報告 1部1,300円

株式会社　毎日学術フォーラム
〒100-0003　東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル2階
TEL ： 03-6267-4550 ／ FAX ： 03-6267-4555
Mail ： maf－sales@mycom.co.jp
URL ： http://maf.mycom.co.jp

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。
この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。
■年間購読料　4,000円／年6回発行＜送料込＞